

耳鼻いんこう科における研修の目標, 方略(方法)及び評価

1 独自の研修目標・目的

耳鼻いんこう科の日常臨床で頻繁に遭遇する疾患や基本的な頭頸部領域の手術に関して理解し、耳鼻いんこう科領域のプライマリ・ケアの基本能力を習得する。また、チーム医療に参加することにより、医療従事者としての協調性の向上を目指す。

2 耳鼻いんこう科研修の特徴

基本的に指導医下において、耳鼻いんこう科のレジデントと共に行動し、入院及び外来患者の診療に参加する。当科では、耳鼻いんこう科救急疾患(急性上気道炎、末梢性めまい、鼻出血)の症例が多く、また、副鼻口内視鏡手術、咽頭顕微鏡手術といった耳鼻いんこう科良性疾患の手術を数多く行っており、耳鼻いんこう科のプライマリ・ケアの研修に適している。

3 研修の目標・目的達成のための方略・方法

専門医3名、レジデント1名の計4名が東北大学耳鼻いんこう科医局との連携のもと診療を行っている。入院患者の治療では、特定の主治医を設定せずに4名が毎朝のカンファランスを通して共通認識を得て診察している。研修医はそのグループの一員となり、レジデントと共に診察に参加する。多くの指導医から広い範囲で知識と技能を学ぶことが可能である。

4 目標達成の評価

研修の後半に担当した患者のうち指定する1症例について、診察・検査・治療方針の作成に関して、レジデントと専門医の1名(耳鼻いんこう科部長)の計2名が評価する。また、研修医側からのアンケートを行い、研修内容の評価を行う。

5 検査

頭頸部の画像検査に加え、耳鼻いんこう科領域の特殊検査として、聴力検査、平衡機能検査、嚥下造影検査、鼻・咽喉頭内視鏡検査を経験し、その結果の評価について研修する。

6 カンファランス

手術症例カンファランス(週1回)
病理・放射線科との合同カンファランス(月1回)

7 週間スケジュール

	午前	午後	夕方
月	病棟業務・手術	手術	
火	病棟・外来業務	特殊検査	
水	病棟・外来業務	外来手術・特殊検査	
木	病棟・外来業務	手術症例カンファランス	
金	病棟業務・手術	手術	

8 研究活動等

耳鼻いんこう科の専門学会(宮城県地方部会、東北連合学会)での症例報告を目標に指導を行う。